



2026年3月5日

各位

会社名 株式会社ヌーラボ  
代表者名 代表取締役 橋本 正徳  
(コード番号: 5033 東証グロース市場)  
問合せ先 経営企画部長 内田 祥彦  
E-mail: ir@nulab.com

## 「Backlog AI アシスタント」正式提供開始に関するお知らせ

2025年6月24日付開示の通り(※1)、当社はプロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」において、運用支援型AI機能「Backlog AI アシスタント」を本日、2026年3月5日(木)より提供開始します。

「Backlog AI アシスタント」は、Backlogに蓄積された課題・コメント・Wiki・ドキュメントなどの情報をAIが横断的に読み取り、チャット形式で状況整理や要点抽出、課題作成を支援する機能です。

詳細は次頁以降のご案内をご参照ください。

なお、本件による当期連結業績への影響は軽微ですが、業績に与える影響が生じた場合には、詳細が確定次第、東京証券取引所における適時開示規則に基づき適時適切に公表いたします

※1 2025年6月24日付『チームの協働を支える「Backlog AI アシスタント」の提供に関するお知らせ』  
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/5033/tdnet/2642838/00.pdf>

【「Backlog AI アシスタント」の提供に関するお問い合わせ先】  
メールアドレス: pr@nulab.com

以上

## ヌーラボ、「Backlog AIアシスタント」を正式提供開始

～ 個人最適化からチーム最適化へ、業務データを活かす運用支援AI～

株式会社ヌーラボ（本社：福岡県福岡市、以下 ヌーラボ）は、プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」において、運用支援型AI機能「Backlog AIアシスタント」を本日、2026年3月5日（木）より提供開始します。「Backlog AIアシスタント」は、Backlogに蓄積された課題・コメント・Wiki・ドキュメントなどの情報をAIが横断的に読み取り、チャット形式で状況整理や要点抽出、課題作成を支援する機能です。

チームの業務にAIが応える

# Backlog

# AIアシスタント

2026年3月5日 正式リリース

Backlogに蓄積された情報を横断的に整理  
日々の業務判断と進行を支援

Backlog AIアシスタント

ご用件はなんですか？

参加しているプロジェクトの課題、コメント、Wiki、ドキュメントの情報をもとに、検索やレポート作成、進捗の把握や分析などができます。

- Backlog AIアシスタントでできることを教えて >
- 最近で自分がやるべき課題は何ですか >
- このプロジェクトは今どこまで進んでいますか >

Backlog AIアシスタントについてのフィードバック

お気軽に質問してください

### ■背景：可視化だけでは進まないプロジェクト運営

企業では、部門や組織を横断するプロジェクト型の業務が増え、管理ツールによる可視化が進みました。しかし、「情報があること」と「前に進めること」は同義ではありません。起票や進捗整理、報告作成といった運用は依然として人に依存し、進行管理が特定のメンバーに集中する場面も少なくありません。

こうした課題を背景に、「Backlog AIアシスタント」は、蓄積された情報を横断的に整理し、プロジェクト全体の状況を踏まえた意思決定につなげるAIとして設計されています。

実際にβ版導入企業では、業務整理や要約支援に加え、『この業務は誰に振ればいいのか』『メンバーはどのタスクで停滞しているか』『期限超過や依存関係によるリスクはないか』といった問いに対し、Backlogの行動履歴やタスク情報をもとに状況を整理する活用も生まれています。これは、組織固有の業務文脈を前提としており、特定業務に特化したAIでは実現しにくいものです。

日々の業務管理が組織の動きを映すデータ基盤となる。「Backlog AIアシスタント」は、この構造を前提に、チームの前進と組織全体の意思決定を支える存在へと進化していきます。

## ■ 「Backlog AIアシスタント」機能の概要



### プロジェクト情報の整理・要約

自分が参加しているプロジェクト内の課題ステータスやコメント履歴、担当者情報をもとに、進捗状況を要約します。複数課題を横断した整理や、週次・月次レポート作成を支援します。

### 課題・ドキュメントの検索・要約

参加プロジェクト内の課題詳細、コメント、Wiki、ドキュメントを対象に関連情報を検索し、要点を整理します。過去の経緯を踏まえた回答により、情報探索の手間を軽減します。

### 課題の作成・更新支援

参照元の課題やプロジェクトの文脈を踏まえ、新規課題の作成や更新内容を提案します。最終的な登録・反映は利用者が判断する設計です。

### <提供プラン・利用条件について>

Backlog AIアシスタントは、「プレミアムプラン」「プラチナプラン」をご契約の組織を対象に提供します。対象プランには、毎月「Backlog AIクレジット（※1）」が無償で付与されます。

提供プラン・無償クレジット数：

- ・プレミアムプラン：2,000クレジット／月
- ・プラチナプラン：5,000クレジット／月

利用対象ユーザー：

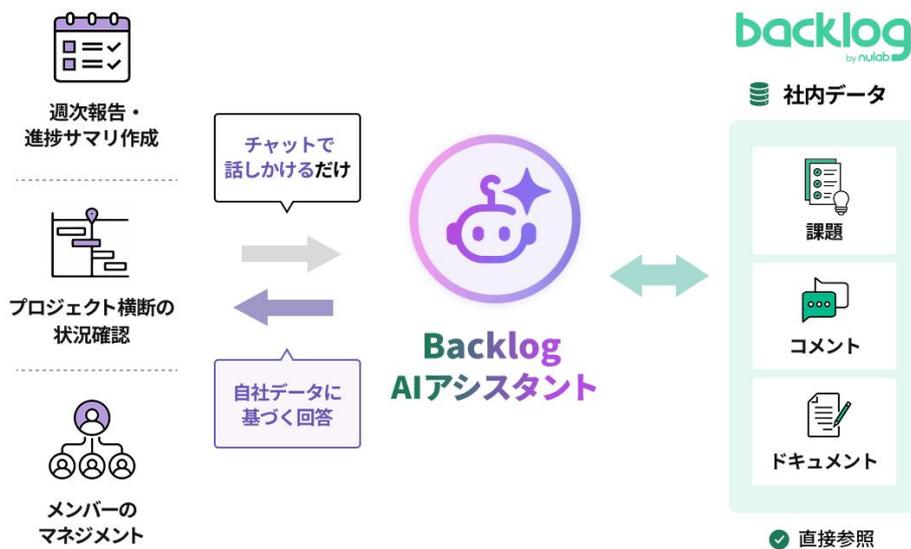
- ・「管理者」および「一般ユーザー」の権限を持つユーザー

なお、無償クレジットを使い切った場合は、「Backlog AIクレジットパック（月額税込9,900円～）」をご購入いただけます。

## [「Backlog AIアシスタント」 サービスページ](#)

※1 Backlog AIクレジット：Backlog AIアシスタント利用時に消費される利用単位です。消費量は質問内容や参照データ量により変動します。

### ■ 「Backlog AIアシスタント」 活用イメージ



週次報告の作成やプロジェクト横断での進捗確認、メンバーの担当状況の把握など、チーム運営では複数の課題やコメントを行き来しながら状況を整理する場面が日常的に発生します。

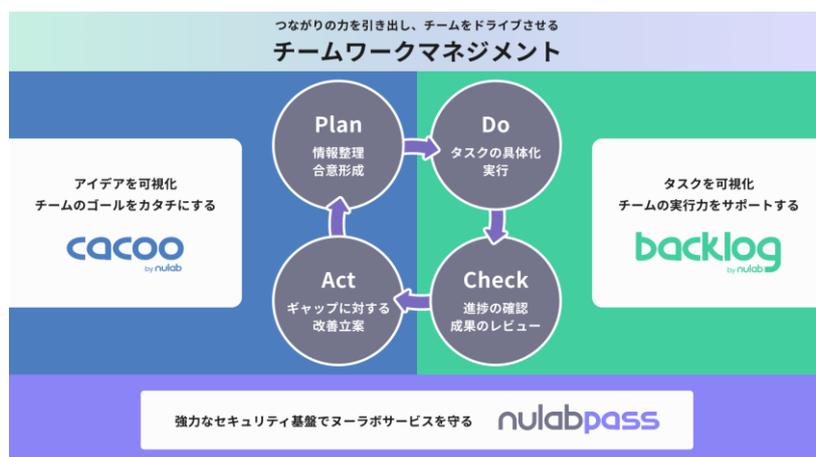
「Backlog AIアシスタント」は、チャットで話しかけるだけで、Backlogに蓄積された課題・コメント・ドキュメントなどの社内データを直接参照し、状況の要点を整理します。自社の業務データに基づく回答により、進捗の把握や論点の抽出、役割分担の検討といった意思決定を支援します。

### ■ 利用規約・セキュリティについて

「Backlog AIアシスタント」で取り扱うデータは、AIモデルの学習には利用されません。また、AIが参照するのは、利用者自身が参加しているプロジェクト内の情報に限られます。利用条件およびデータの取り扱いについては、以下の利用規約をご確認ください。

<https://nulab.com/ja/terms/ai-assistant/>

### ■ ヌーラボが提供するサービスについて



ヌーラボは、異なる職種や違う部門のメンバーで形成されたチームが共通の目標に向かって自律的に協働し、組織全体の生産性を向上させる「チームワークマネジメント」を提唱し、PDCAがスムーズに回るための包括的なサービスを提供しています。

- ・プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」：<https://backlog.com>
- ・オンラインホワイトボードツール「Cacoo」：<https://cacoo.com/ja/>
- ・組織の情報セキュリティ・ガバナンスを高める「Nulab Pass」：<https://nulab.com/ja/nulabpass>

## ■ 株式会社ヌーラボについて

代表者：橋本正徳

本社：福岡県福岡市中央区大名一丁目8-6 HCC BLD. 2・6・7F

東京事務所：東京都港区芝大門二丁目1番16号 +SHIFT SHIBADAIMON B1F

コーポレートサイト：<https://nulab.com>

採用サイト：<https://careers.nulab.com/>

## ■ この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社ヌーラボ 広報担当 谷澤

TEL：050-5783-5622（担当直通） E-mail：[pr@nulab.com](mailto:pr@nulab.com)

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。